



+	INDEX	・ 令和6年度第2回臨時総会 開催	1
		・ 鶏卵の需給見通し（令和6年度9月）の公表）について	2-4
		・ 配合飼料供給価格の動向	5
		・ 統計データ	6
		・ 協会活動報告	7
		・ 郵送による各種情報提供サービスの終了について	8

令和6年度第2回臨時総会 開催

令和6年9月27日「（一社）日本養鶏協会 令和6年度第2回臨時総会」が開催されました。臨時総会では彦坂副会長が開催挨拶の後、引き続き議長に選任され、提出された議案について審議が行われ、第1号議案及び第2号議案とも原案通り可決されました。

第1号議案は、当協会が令和5年度計算書類の結果により「大規模一般社団法人」となったことから、定款第21条第2項に基づき会計監査人を置くことが必要となり、定款第22条に基づき会計監査人に求める専門性、独立性及び適切性を有する**鈴木雅也公認会計事務所**を会計監査人として選任いたしました。



第2号議案は、高橋龍彦理事（現：全国農業協同組合連合会 監事）が令和6年9月2日付にて辞任される旨の届け出を受けたことから、**佐藤大二郎氏（全国農業協同組合連合会 畜産総合対策部 次長）**を理事として選任いたしました。

開催日時	： 令和6年9月27日（金）10：00～
開催場所	： 馬事畜産会館 2F 第2・3会議室 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目6番16号 TEL 03-3297-5515
議案	： 第1号議案 会計監査人の選任に関する件 第2号議案 理事1名の選任に関する件

【お問い合わせ】

総務部 Tel : 03-3297-5515



鶏卵の需給見通し（令和6年度9月）の公表について

令和6年9月24日に開催された鶏卵の需給見通し検討委員会における議論を踏まえ、9月27日に鶏卵の需給見通しが公表されました。その概要は以下のとおりです。

1. 令和5年下半期から令和6年下半期(8月まで)における需要、供給及び価格の動向

令和5年下半期から令和6年下半期（8月まで）においては、高病原性鳥インフルエンザ（以下、「HPAI」という。）に罹災した農場における雛の再導入の結果、供給量は着実に回復した一方、それ以上に需要の回復、特に供給減により縮小した加工需要の回復は遅れたままとなった。この間、鶏卵卸売価格は、総じて下落傾向にあったが、令和6年8月以降は徐々に上昇し、令和5年に次ぐ水準で推移している。



2. 短期的見通し[令和6年下半期～令和7年上半期]

(1) 需要

家庭用消費は、令和4年度シーズンのHPAI発生前の水準まで回復したと言える状況にあるが、8月以降に卸売価格が上昇しているなか、小売価格が今後の家庭用消費に影響を及ぼす。食品加工産業では、冬場のHPAIの大規模発生による安定供給に対する懸念もあり、鶏卵を使用した商品開発には慎重なことから、当面、需要が十分に戻らない可能性がある。外食産業では、売上が好調ななか、休止していた卵メニューも回復しており、更に、鶏卵を使用した季節商品のプロモーションを契機とした需要増加の継続が期待される。

(2) 供給

令和6年における国内鶏卵生産量は、採卵用ひなの出荷羽数から推計したところ、HPAI等の影響を受けた令和5年の鶏卵生産量と同水準、また、令和7年上半期の国内鶏卵生産量も令和6年同期と同水準と考えられる。

(3) 価格

猛暑等に起因する生産量の減少と外食産業による月見フェアの実施等により価格が上昇しており、今後も高値で推移するとの見方もある一方、冬場はHPAI発生への懸念から食品加工・外食産業における需要減により鶏卵価格の上昇傾向が止まる可能性もある。



3. 長期的な見通し[令和7年～令和12年]

一人当たり鶏卵消費量、人口の変化及び国内生産量に着目し推計すると、令和12年の需要と供給は、それぞれ、約262万ト、約273万トで、供給量が約11万ト超過する見込みである。

4. 今後の課題

(1) HPAI防疫体制の強化

HPAIの大規模発生による供給の不安定化への懸念を払しょくするため、防疫体制の強化に加え、一層効果的な分割管理方策等HPAIが発生した際の対応策についての議論が求められる。

(2) 安定的な供給及び鶏卵卸売価格

目下の課題となっている加工需要を取り戻すために、鶏卵の需要に見合った安定的な供給と価格の安定への対応や鶏卵不足時における生産者と加工・外食産業との連携の在り方の検討が求められる。

(3) 鶏卵の生産コスト高騰への対応

高水準となっている鶏卵生産コストは、鶏卵生産者の経営を圧迫し、生産意欲の減退により鶏卵の安定供給への妨げになるおそれがあることから、今後、需要側も受け入れられる適正な価格形成を確立するための仕組みの検討が求められる。

(4) 鶏卵の消費拡大

消費者に加え、食品加工産業や外食産業に対し、食材としての鶏卵の活用方策や栄養機能性等の魅力を訴求し、新商品の開発や付加価値向上などの様々な角度から、鶏卵の消費拡大を推進させることが求められる。

(5) インバウンド需要の取り込みと輸出先国の拡大

我が国の今後の人口減少に伴う鶏卵需要の減少への対策として、消費拡大とともに、海外での国産鶏卵の販売促進とインバウンド需要の開拓が有効となる。今後、訪日外国人観光客への鶏卵消費促進に関する取組み、輸出支援セミナーや現地企業との販売促進等の拡充、市場調査等の強化及び鶏卵を使用した魅力的な商品の開発が求められる。

(6) 正確な情報提供

長期的な需要に関する予測情報の提供により、生産者による需要に見合った安定的な鶏卵の供給を推進するとともに、災害等緊急時における鶏卵生産量に係る情報の業務筋への時宜を得た提供等の仕組みの検討が求められる。

(7) 食料安全保障への対応

国産鶏卵業界の国際競争力の強化に加え、生産コストの一層の効率化と飼料等の生産資材の安定的確保を通し、国産鶏卵の健全な発展による安定的な供給と価格を確保することによる自給率の維持が期待されている。

(了)



鶏卵の需給見通しに関する検討会委員（五十音順・敬称略）

青木 郁雄	イオンリテール株式会社 デイリーフーズ商品部長
市川 尚宏	三栄鶏卵株式会社 代表取締役社長
井ノ上 雄太郎	株式会社ゼンショーホールディングス グループMD本部 畜産部 マーチャンダイザー
河内 友信	キューピーたまご株式会社 購買本部 購買部次長
北野 英明	日清丸紅飼料株式会社 社長付
工藤 哲平	東京鶏卵株式会社 代表取締役社長
設楽 弘之	一般社団法人 日本卵業協会専務理事
寺本 直人	J A全農たまご株式会社 東日本営業本部 第一営業部長
信岡 誠治	元東京農業大学農学部畜産学科教授
早川 彩子	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 米飯・麺類部 原材料・設備サポート マーチャンダイザー
林 義隆	協同組合 日本飼料工業会 参事
湯浅 琢磨	山崎製パン株式会社 購買本部 購買第一部次長
渡邊 周治	一般社団法人 日本種鶏孵卵協会顧問
米山 大介	一般社団法人 日本養鶏協会会長
彦坂 誠	一般社団法人 日本養鶏協会副会長
齋藤 利明	一般社団法人 日本養鶏協会理事
坂本 修三	一般社団法人 日本養鶏協会元副会長
畠中 五恵子	一般社団法人 日本養鶏協会会員生産者
石井 馨	一般社団法人 日本養鶏協会専務理事

【お問い合わせ】

業務第2部 Tel:03-3297-5515



配合飼料供給価格の動向

令和6年10～12月期の配合飼料供給価格については、飼料情勢・外国為替情勢等を踏まえ、令和6年7～9月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり4,850円値下げすることになりました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

単位：円／平均トン（前四半期比較）

区分	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	年間
令和6年	↑2,800	▼4,600	↑2,200	▼4,850	▼4,450
令和5年	▼1,000	▼2,000	▼2,000	▼2,700	▼7,700
令和4年	↑2,900	↑4,350	↑11,400	据え置き	↑18,650
令和3年	↑3,900	↑5,500	↑4,700	▼1,250	↑12,850
令和2年	↑700	▼800	▼1,000	↑1,350	↑250

出典：全国農業協同組合連合会（JA全農）「配合飼料供給価格」

■ [令和6年10～12月期の配合飼料供給価格改定について](https://www.zennoh.or.jp/press/release/2024/102033.html)

<https://www.zennoh.or.jp/press/release/2024/102033.html>



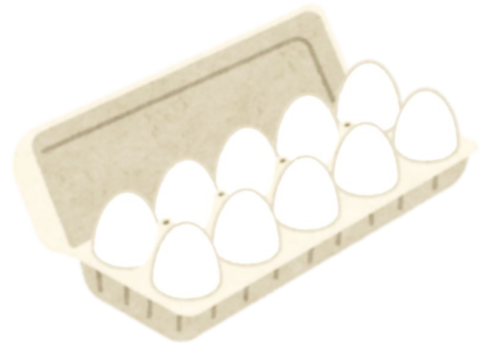
統計データ



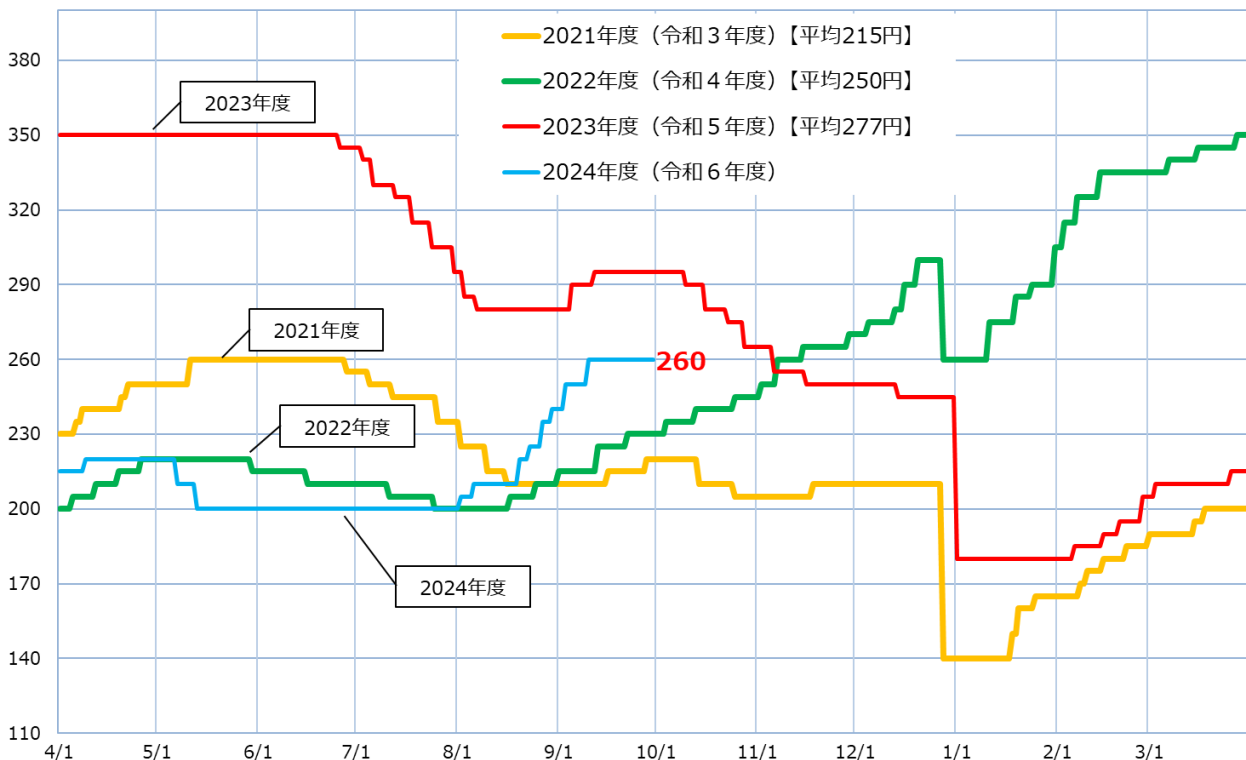
鶏卵相場動向 — 過去10年間の9月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成27年	247	268	229
平成28年	192	218	174
平成29年	194	215	181
平成30年	184	208	174
令和元年	179	218	144
令和2年	153	180	139
令和3年	213	240	204
令和4年	223	252	209
令和5年	292	319	274
令和6年	256	284	234
平均値	213	240	196

令和6年9月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値284円は、過去10年の平均値240円を44円上回り、安値234円は、過去10年の平均値196円を38円上回っています。



鶏卵相場推移 2021年度～2024年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は8月末の240円から価格が上がり9月末では260円に上がりました。



鶏卵関係主要計数 —— 令和6年7月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比★	数量(g)	前年比	前年	本年
5年 8月	8,694	102.5%	434	93.0%	859	97.9%	204	282
9月	8,053	102.9%	427	92.4%	849	96.2%	223	292
10月	8,801	104.7%	457	97.3%	891	93.2%	239	283
11月	8,671	98.9%	466	96.6%	876	96.2%	262	254
12月	9,584	105.6%	501	98.4%	951	100.8%	284	247
6年 1月	7,545	89.0%	456	102.3%	898	100.0%	280	180
2月	7,631	92.1%	453	106.9%	891	105.0%	327	190
3月	8,325	87.9%	464	97.4%	928	112.1%	343	211
4月	8,283	95.0%	478	108.2%	876	103.6%	350	219
5月	8,046	86.1%	477	102.2%	937	112.5%	350	204
6月	8,057	83.6%	439	97.9%	906	110.8%	349	200
7月	8,539	91.6%	450	105.4%	837	102.9%	320	200
1年間合計 平均(%)	100,229	95.0%	5,502	99.8%	10,699	102.6%	294(平均)	230(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,539千羽（前年比91.6%）と前年比8.4%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、450千トン（前年比105.4%）と前年比5.4%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、837グラム（前年比102.9%）と前年比2.9%増となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の120円安を示しました。
- ・配合飼料出荷量 前年比★は、生産量の前年比となります。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業参加者の

契約数量（単位：t）

令和 3年度	1,840,695
令和 4年度	1,794,699
令和 5年度	1,731,712
令和 6年度	1,824,301

② 標準取引価格

令和6年9月 262.74円/kg

③ 令和6年度

鶏卵生産者経営安定対策事業の基準価格

補填基準価格 222円/kg

安定基準価格 202円/kg



郵送による各種情報提供サービスの終了について

ご購入者の皆様へ

(一社) 日本養鶏協会

専務理事 石井 馨

郵送による各種情報提供サービスの終了について

記

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

当協会では生産者や消費者をはじめとした皆様に、養鶏に関する各種情報提供サービスとして、ホームページへの掲載及びメールでのご案内の他、郵送での提供も行ってまいりました。

この度、今後の運営方針について見直しを行い、皆様に迅速かつ利便性高く閲覧いただける「ホームページ及びメールでの情報提供」に一本化させていただき、併せて環境保護に対する取り組みも進めてまいりたいと存じます。

つきましては、本年12月発行分をもって、**紙面での発行及び郵送を廃止**させていただくこととなりました。今後とも、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

総務部 Tel:03-3297-5515

日鶏協ニュース 発行者：[一般社団法人 日本養鶏協会](#)
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)
Tel:03-3297-5515 Fax:03-3297-5519 発行日:2024年10月3日
編集・発行責任者:石井 馨(info@jpa.or.jp)